

池田市 情報モラル教育について

2024(令和6)年9月20日
池田市教育センター

情報モラル教育 背景



学習指導要領（総則） 2つのポイント

- 情報活用能力を言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付け
- I C Tを活用した学習活動の充実に配慮

ICTを活用して授業に取り組む様子



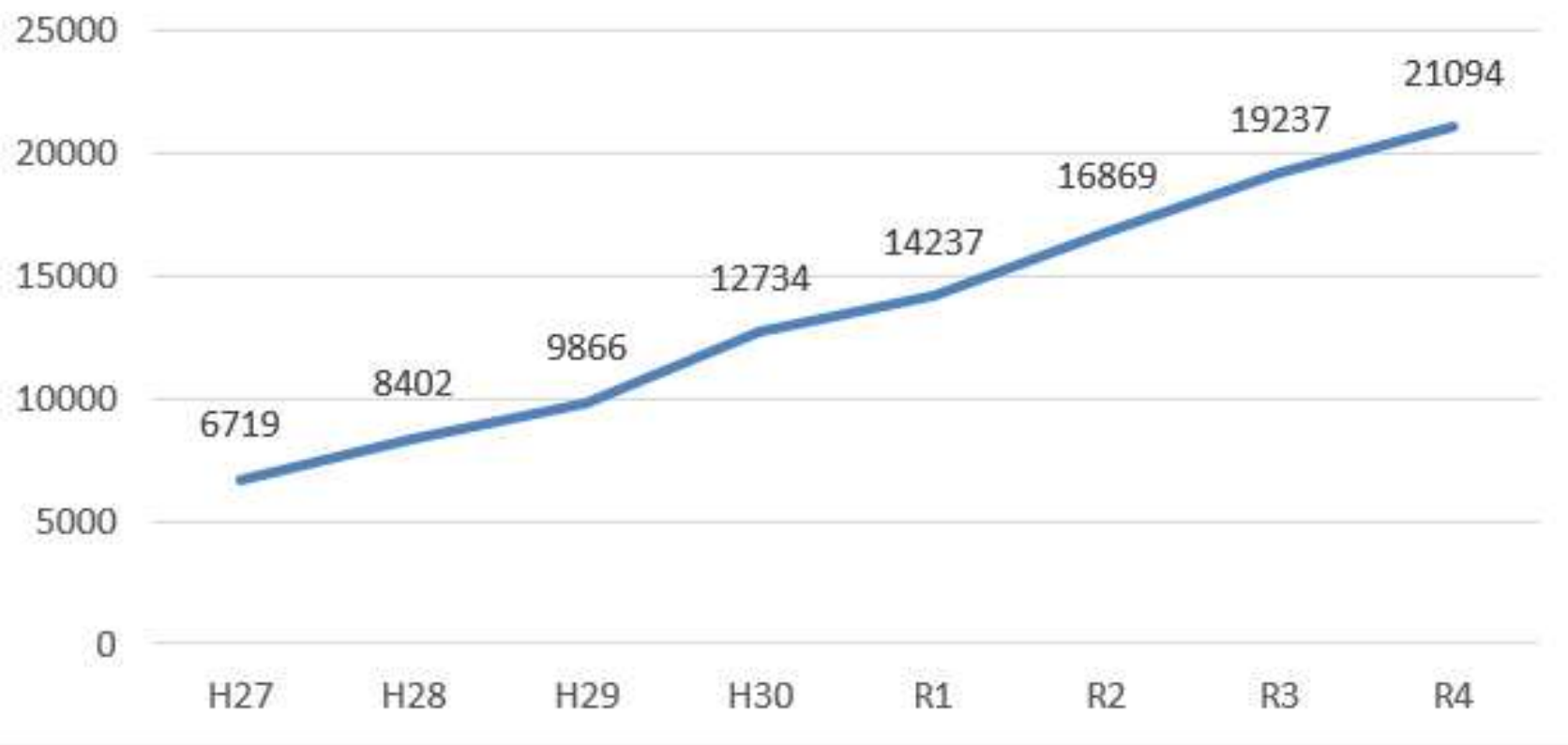
情報モラル教育が必要な背景

携帯電話・スマホやSNSが子供たちに普及

- ネット上での誹謗中傷やいじめ
- ネット上の犯罪や違法
- ネット利用の長時間化

文部科学省いじめに関する調査

パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる
(全国)



情報モラル教育 実際



情報モラル教育の実際

通常授業

■ 情報担当教員や生徒指導主事、各担任等が実施

出前授業

■ 企業、池田少年サポートセンター、大阪府人権擁護課等に講師を依頼・実施

情報モラル教育 出前授業



情報モラル教育の実際

市内小学校実施 情報モラル教育

講師：企業

表題：考えるスマホ・タブレット教室

めあて①：スマホで人を傷つけない

めあて②：スマホで犯罪に巻き込まれない

情報モラル教育の実際

市内小学校実施 情報モラル教育

- × 悪意をもった人とのつながりが始まる
- × 企業面接ではスマホについて調べられることも（写真動画、悪口批判、嘘情報等）
- × 法律違反をすると…（スシロー迷惑動画事件では6,700万円請求）
- × 年齢、性別等、嘘をついている人がたくさん
- × 個人情報への投稿のリスク

情報モラル教育の実際

市内小学校実施 情報モラル教育

- 「使用してはだめ」ではない
- スマホについて正しい知識を得ること
- 困ったときは一人で悩まず、大人に相談
- 限られた自分の時間を有意義に使おう

まとめ：スマホは人々を幸せにするもの

情報モラル教育 課題



情報モラル教育の課題

- より一層の情報活用能力の育成
- 生徒間トラブルが増加傾向・重篤化